



BUSINESS LABO.
HUMAN LINK INC.

データは大学の研究および臨床や、教育の分野でご活用いただくとともに、最新の機能訓練のフィードバックにつながられます。まさに

軽介護者に動ける喜びを！
札幌圏に相次ぎ新設

社会貢献 リハビリ

▲田中紀雄社長は1974年岩見沢生まれ。札幌学院大学卒業後、民間会社勤務などを経て、2010年㈱ヒューマンリンク設立。通所介護事業、ビジネスコンサルティングなどを営む。ほかに、ビューティーサロン事業、カットショップ事業を手がける㈱ノーストライバルを経営。



▲「湯の花セラミックボール」を敷き詰めた足岩盤浴



▲手厚いケアが好評のベッドサイドリハ

に産学連携によって、高齢化社会の課題である自立支援の視点に立ち、日常生活動作の維持向上に努めています。

——機能訓練のほか、ベッドサイドリハと足岩盤浴のプログラムがあります。

全部で3時間のプログラムです。ベッドサイドリハは、身体の疲労の蓄積を適格に察知して、丹念にひとつひとつの部位をほぐしてまいります。足岩盤浴は秋田玉川温泉のラジウムや遠赤外線のパワーが足の裏を刺激し、末梢血管循環の促進に抜群の効能を発揮します。

——夜間は鍼灸・整骨院「カラダプラス」として低料金で施術が受けられるそうです。

問い合わせは
☎(011)375・0332

「カラダラボ」の1店舗目となる「上江別」がオープンしました。とても迅速な事業展開ですね。



——ヒューマンリンクを設立したのが一昨年8月。その年12月にカラダ研究所プロジェクトを開始し、昨年2月にリハビリ特化型デイサービス



▲レッドコードはノルウェー式理学療法だ。「運動能力が向上した」という喜びの声が寄せられている

型の新展開 特化型デイサービス

まずニーズがあるということ。比較的元気な軽介護者の「介護難民」と医療のリハビリ切りによる「リハビリ難民」と呼ばれる方が利

高齢化社会の進展に伴い設備の整った介護施設が増え続けている。ただ、こうした施設に入居、利用している人の多くは要介護度の高い、施設にとっていわば介護報酬単価の高い人たちだ。その反面、要介護度の低い人が利用できる施設は意外に少ないのが実態だ。そんな中で、「本当にリハビリの必要な介護者」のためのリハビリ特化型デイサービス施設として注目を集めているのが「カラダラボ」だ。江別を皮切りに、札幌圏に順次開設されており、その事業展開について運営会社ヒューマンリンクの田中紀雄社長に聞いた。

用できる施設が少ないのです。「軽介護者」の多くは「自ら動くことができる」「動けるようになる可能性がある」のですから、そこに着目して、軽介護者の方が活動することによって得られる人生の楽しさや充実感を共にわかち合う場所と時間を提供しようとして「リハビリ特化型デイサービス」というかたちにしたのです。

——レッドコードを用いた機能訓練に特徴があるようですね。

北海道文教大学
人間科学部理学療法学科・大森圭准



▲男性スタッフは柔道整復師の有資格者。女性スタッフも介護士などの有資格者が多い

教授と顧問契約を結んでおり、国際インストラクターである大森先生の指導に基づいて無理のないプログラムを用意しています。効果的な運動バランス訓練や筋力トレーニングを行うものです。

——顧問にはほかに、札幌医科大学名誉教授で理学療法士である宮本重範氏も就任されていますね。

当社は「医療と介護の中間の産業を生み出し、これをもって社会に貢献する」という企業理念を掲げています。カラダラボで得たさまざまな